



実習期間 () 氏名 ()

施設に通所している高齢者の看護 (老年看護学実習 II -2)

1、高齢者の様々な生活の場を考える

病院でも施設でも自宅でも、どこであっても、その人にとって「生活の場」となり、その人の暮らしを大切にしたいものです。

1) 滞在時間に注目した高齢者の生活の場について考えてみましょう。表 1 の空欄に各生活の場とは、どのような場所があるか記載して下さい。

表 1

医療機関	介護保険施設	居宅・地域密着型		
		24 時間生活の場		時間限定の生活の場
24 時間生活の場	24 時間生活の場	自宅	自宅以外の居宅・短期入所	
・一般病棟 ・回復期リハビリテーション病棟 ・緩和ケア病棟 など		自宅		

2) 時間限定の生活の場について考える

高齢者 A さんの日々の暮らしの場の変化の一例を表 2 に示します。

表 2 A さんの日々の暮らしの一例

月曜					
自宅の自室	車	デイサービスセンター		車	自宅の自室
家族		職員・利用者・ボランティアなど		家族	
火曜					
自宅の自室	散歩	自宅の居間		庭畑	自宅の自室
家族		家族・訪問介護・近所の人など		家族	
水曜					
自宅の自室	車	病院の外来	車	自宅の居間	自宅の自室
家族		家族・職員		家族・近所の人など	

本実習における「通所」に生活の視点を置いて考えてみると、「デイサービスセンター」の数時間は、A さんにとって、生活の一部であることが理解できると思います。

2、通所サービスでの看護師の役割について考える

1) 看護師には、どのような役割があるか記載して下さい。

2) あなたは、実習2日目に、送迎バスに同乗させてもらう事になりました。実習1日目に会話したBさんを含め、高齢者6人のお迎えに同行します。①観察の視点②あなた自身が配慮する点について記載して下さい。

①観察の視点
②あなた自身が配慮する点

3、多職種連携について考える

1) 通所サービスにおける多職種連携の必要性について、教科書や実習要項を参考に記載して下さい。

2) 多職種連携は、異文化コミュニケーションと言っても過言ではありません。(専門性による文化の違いは大きい!)
あなたが、利用者の情報共有をするうえで、多職種との関わりで、留意したい点について考えを記載して下さい。
